

新年 賀 謹



《 新年のご挨拶 》

発行所
11特OB会

連絡先

札幌市南区
真駒内17番地
第11特科隊広報機護室
TEL (011)-581-3191
内線2645

印刷
札幌造型合同会社

主な記事

- 二面 隊区市町村長・協力諸団体挨拶
- 三面 副隊長・各中隊長挨拶
- 四面 新婚さん・新生児・退官者の紹介
- 五面 各協力会等の紹介
- 六面 令和三年度各中隊配属新隊員の紹介
- 七面 令和三年度特科隊実射検閲
- 八面 写真で振り返る特科隊の一年



第十一特科隊長
一等陸佐 廣岡 睦



第十一特科隊 最上級曹長
准陸尉 荒川 努

新年おめでとうございます。
十一特OB会、やまぶき会をはじめ協力諸団体、そして隊員ご家族の皆様とともに、新しい年を迎えられますことを喜び申し上げます。

統率方針「創造せよ」要望事項「地域の信頼、上下左右の連携、心と体の健康管理」を掲げ「任務に備えよ、コロナに負けるな」を合言葉に隊務遂行に邁進して参りました。

特に「令和三年度第十一特科隊実射検閲」における成果獲得を目標に年度当初から練成を重ねたほか、あらゆる任務に即動、そして任務を必遂すべく練成を重ねて参りました。

また、年度を通じ「地域の信頼」に応えるべく、地方自治体で主催される防災訓練などに参加させていただき、コロナ禍にあっても、あらゆる備えに万全を期すため、連絡・調整の態勢確立、関係充実に取り組んでおります。

引き続き十一特OB会、やまぶき会をはじめ、応援していただいている皆様、地域の信頼に応え得る「部隊の創造」に励む所存です。今後とも宜しくお願ひ申し上げます。



十一特OB会
会長 黒田 則幸

第十一特科隊の皆様そしてご家族並びに協力団体の皆様、明けましておめでとうございませう。輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの全国的な感染拡大が繰り返され、不自由な生活を余儀なくされるとともに経済的に大打撃を与えました。

また、多くの尊い命が失われたことは残念でなりません。このような中において自衛隊は東京及び大阪に大規模接種会場を開設し多くの方にワクチン接種を行い、感染抑止に多大なる貢献をいたしました。

さらに、近年は地球温暖化の影響と思われる豪雨による大規模な災害の多発により、迅速に出動し危険を顧みず被災者のために活動する姿に接し、国民の自衛隊への期待は益々高まっているものと思っております。

一方、我が国周辺の安全保障環境は、尖閣諸島への領海侵入を繰り返す中国の動向や国連の安保理決議違反を繰り返す、核・ミサイル開発を進める北朝鮮、北方四島の軍事増強を進めるロシア等、一層厳しさを増しています。

国内外ともに課題が山積している現状ですが、自衛隊の武力集団としての本質は何ら変わることなく国家防衛の最後の砦となる陸上自衛隊の役割も変わりません。

第十一特科隊の皆様には、日頃から厳しい訓練により隊長を核として一致団結し、強くそして謙虚で、国民の負託に応え得る精強な部隊の育成に引き続き精励して頂きますようお願い申し上げます。

十一特OB会はこれからも部隊の皆様を全力でご支援させていただきます。最後に、第十一特科隊の隊員及びご家族の皆様そして協力諸団体の皆様にとつて本年が幸多き年となりますようご祈念申し上げます。



年頭の挨拶

謹んで新春のお慶びを申し上げます

第十一特科隊の皆様にとりまして

本年が素晴らしい年となりますことを

心からお祈り申し上げます



小樽市長
迫 俊哉

輝かしい新春を御健勝にて

お迎えることと心からお喜び申し上げます

第十一特科隊の皆様のご益々の

御発展と御多幸を祈念いたします



仁木町長
佐藤聖一郎

第十一特科隊の皆様

輝かしい新春を迎えられ

益々のご発展とご多幸を

祈念いたします



古平町長
成田 昭彦

謹んで新年のお慶びを申し上げます

第十一特科隊の隊員皆様の

一層のご精進と貴隊の益々の

ご活躍をお祈り申し上げます



積丹町長
松井 秀紀

輝かしい新春を迎え

第十一特科隊の隊員皆様の

ご活躍とご多幸

そして貴隊の益々のご発展を

お祈り申し上げます



余市町長
齊藤 啓輔

第十一特科隊の皆様

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

第十一特科隊の皆様のご益々の

御発展と御多幸を祈念いたします。



赤井川村長
馬場 希

自衛隊 ありがとうございます

ありがとうございます 第十一特科隊



自衛隊小樽協力会
会長
山本 信彦

令和四年の新春を迎え

謹んでお慶び申し上げます

世界の平和のため益々の

ご活躍をご祈念申し上げます



余市町自衛隊協力会
会長
中山 尚志

第十一特科隊の皆様

新年明けましておめでとうございます

ご家族共々お健やかに新年を迎えられた

事と心よりお慶び申し上げます。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます



公益社団法人 自衛隊家族会
札幌自衛隊家族会理事
小樽支部長
水野 政明

謹んで新年のお慶び申し上げます

第十一科隊の皆様と御家族様の

益々の御発展と御多幸を

お祈り申し上げます



公益社団法人 自衛隊家族会
札幌自衛隊家族会理事
余市支部長
青山 由明

謹んで新春のお慶びを申し上げます

第十一特科隊の皆様のご

益々のご活躍とご多幸を

心からお祈り申し上げます



札幌地方隊友会
定山溪支部長
張替 正敏

第11特科隊

副隊長・中隊長、最先任上級曹長から新年のご挨拶



謹んで新春のお慶びを申し上げます。
 旧年中は隊員ご家族の皆様、協力諸団体の皆様、諸先輩の皆様方から格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。
 令和三年は、新型コロナウイルスが猛威を振るい、感染拡大防止対策の徹底が求められる状況の中、隊は、段階的に能力を向上させ、十月特科隊実射検閲を受閲し、その成果を遺憾なく発揮するとともに、十一月の職種機能等強化(火力)では、情報と火力を連携した戦い方を追求し、総合戦闘力を最大限発揮し得る能力を向上させることができました。
 本年も国民の皆様のご期待に応えるよう、隊一丸となり精強化に邁進して参ります。
 何卒変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして、令和四年が良い年となりますことをご祈念申し上げます。



第十一特科隊副隊長
二等陸佐 浅野 正仁



本部管理中隊

<LOVE♥BOND>



令和三年十二月撮影

目指せ大家族!
 明けましておめでとうございます。親父の中隊長を核心とし、揺るがない団結力をもって全力で任務の遂行に努めていきます。本年も宜しくお願い致します。



本部管理中隊長
一等陸尉 富田 智之



迎春2022

謹んで新春の祝詞を申し上げます。
 旧年中は隊員ご家族の皆様、協力諸団体の皆様、諸先輩の皆様方から格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。
 本年も「愛♥絆」を胸に隊員とともに日本一の本部管理中隊を目指して精進します。



令和3年度
新規作成した一中隊のエンブレム

「活模範」
 明けましておめでとうございます。先任に上番して約一年が経過しました。今後もより一層先任上級曹長として活模範となり「日々前進」していきたいと思っております。



第一中隊長
一等陸曹 船木 誠



第一中隊長
一等陸尉 谷 敏臣



一所懸命
 明けましておめでとうございます。村田組は中隊長を核心として、より一層団結し、任務に邁進します。宜しくお願い申し上げます。



第二中隊長
陸曹長 綿引 清二



第二中隊長
一等陸尉 村田 智宣



令和三年十二月撮影

明けましておめでとうございます。中隊長要望事項「貫徹」を実行するため、より一層団結力のある中隊を目標に精進しますので、今年もより一層お願い致します。



第三中隊長
陸曹長 続池 悟



第三中隊長
三等陸佐 江嶋 宏次

謹んで新年のお喜びを申し上げます。
 旧年中は隊員ご家族の皆様、協力諸団体の皆様、諸先輩の皆様方から格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。
 本年も精強かつ健全な中隊の育成をお誓い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
 旧年中は、隊員ご家族の皆様、協力諸団体の皆様から格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございました。
 今年も、これまで以上に中隊一丸となって任務に邁進します。よろしく申し上げます。

新婚さん・新生児・退官者の紹介

防人としての勤務 お疲れさまでした

「コロナに負けるな」前を向こう！幸せいっぱい隊員達の声をお届けします！

幸せいっぱい 新婚さん



芳村曹長
3.10.8付

退官者紹介
自衛隊生活三十六年間に、様々な事があり貴重な人生経験をすることができました。原隊である第十一特科隊で、定年退官を迎えられ光栄に感じております。最後に、皆様の益々のご発展とご多幸をご祈念いたしまして定年退官の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

第三中隊 戸倉三曹

令和三年一月十六日に入籍しました。これからは家族のために頑張つて、二人で手を取り合つて幸せな家庭を築いていきたいと思ひます。

戸倉家

金川家



第三中隊 金川三曹
令和三年七月七日に結婚しました。これからは自分一人だけの身体ではありませんので、健康管理に留意し家族を支え、立派な夫になるよう精進します。

こんにちは赤ちゃん

隊本部 蘭牟田二尉

令和三年五月十八日に第一子の女の子が産まれました。名前は絨(つむぎ)です。めっちゃ可愛いですが、これから、娘が立派に成長できるように子育て頑張ります。



本部管理中隊 藤原二曹

令和三年五月五日に第一子 長男 旭希(あさき)が誕生しました。これから家事に育児に仕事と大変にはなりますが、家族の時間を大切にして着実に任務をこなしていける様に精進します。今後とも家族共々よろしくお願ひ致します。



本部管理中隊 松村三曹

令和三年十一月十三日に第一子 長男 愛士(いとし)が誕生しました。寝てたら天使起きたらモンスターです。これからは家族の為に、闘うパパとして勤務に励んでいきます。



本部管理中隊 第二中隊 瀧川三曹

令和三年五月十七日、体重三千百六十グラムの元気過ぎる女の子 菜菜(かなな)が誕生しました。初めての子育てに戸惑いつつも、親としての幸せを噛み締めています。父のように優しく、母のように強く逞しく育つてます。



第一中隊 柏野三曹

新年あけましておめでとうございます。令和三年九月に我が家に第二子となる女の子が誕生しました。名前は百花「ももか」と名付けました。今後は新たな家族が増えたのでより一層、勤務に精進し家族四人で団結して温かい家庭を築いて頑張つて行きたいと思ひます。



第二中隊 松林三曹

新年あけましておめでとうございませう。令和三年二月二十四日に元気な女の子が生まれました。名前は希心(きこ)と言ひます。カワイイ女の子です。家族も増え、にぎやかな毎日を過ごして行きます。今後とも家族の為に、より一層勤務に励んでいこうと思ひます。



第二中隊 今野二曹



新年あけましておめでとうございませう。令和三年一月二十六日に第一子となる女の子が産まれました。名前は羽菜(はな)です。まだまだコロナ禍ではありますが家族三人団結して楽しい家庭を築いていきたいと思ひます。本年も家族共々宜しくお願ひします。

第二中隊 長谷川三曹

新年あけましておめでとうございませう。令和三年九月十一日に長女、花(はな)が産まれました。一家の長として更に気を引き締めるとともに、明るく楽しい家庭を築いていきます。



第三中隊 齊藤三曹

新年明けましておめでとうございませう。令和三年七月十九日に第二子、琉晟(りゅうせい)が産まれました。コロナ禍で何かと制約が多い中ですが、子供達の笑顔で日々癒されています。今年も家族四人で幸せな家庭を築きたいと思ひます。



協力会等の紹介 ~ 特科隊とともに ~

やまぶき会

やまぶき会は、平成二十七年二月に発足し、旅団友の会入会者の、第十一特科隊へ「一日体験入隊」をされた方々で構成され、会長は、山本 信彦氏（小樽倉庫株式会社 代表取締役会長）が務めている。

現会員は三十二名であり、活動内容は、各種行事への参加及び激励、さつぽろ雪まつり支援に対する隊員への激励慰問等を実施し、旅団及び隊の発展向上に寄与するとともに、年間を通じて、特科隊に寄り添う支援を実施して頂いている。

また、第十一特科隊の警備担当地区である小樽市での行事支援（おたる潮まつり・小樽クリスマスコンサート・防衛講話等）の際には、地域と特科隊の架け橋として、相互協力を行い、自衛隊への理解を深めるとともに、地域の発展に寄与している。



やまぶき会より特科隊
実射検閲激励品の贈呈
(令和3年)



やまぶき会 会長
山本 信彦氏
(平成30年)



訓練公開参加 (令和元年)
副会長 大川氏



雪まつり激励 (平成30年)
副会長 永吉氏

11特OB会

十一特OB会は、昭和六十一年十一月に発足し、第十一特科隊（第十一特科連隊）を定年退官された方々等で構成され、現在六代目会長、黒田 則幸氏が務めている。

現会員数は、二百七名であり、活動内容は、定期総会、年三回の本機関誌「やまぶき」の発刊、隊の各種訓練・競技会・行事の激励など、特科隊を温かく支えて頂いている。

併せて、OB会員相互の親睦を図るため、パークゴルフ大会、懇親会等を行うなど、十一特科隊OB会員は退官後も深い絆で結ばれている。

また、定期総会後の懇親会では、共に戦った会員との再会を懐かしむとともに、現役自衛官の後輩達に温かい言葉や激励をして頂くなど、会員及び隊員と親密な関係を築き上げてきた。

令和三年度には、コロナウイルスの感染拡大防止のため、勢力的な活動は自粛されたが、各種競技会には、直接隊員を激励し、士気の高揚に寄与している。



十一特OB会 会長
黒田 則幸氏
(平成29年)



横断幕で激励する寺本氏
(令和2年)



新隊員を激励する副会長森田氏
(平成30年)



隊員による被災状況等の確認



関係機関への引継ぎ



大型車両による救助者の搬送準備

令和三年度小樽市総合防災訓練

隊は、九月一日（水）、小樽消防庁舎六階講堂及び小樽勝納ふ頭において行われた令和三年度小樽市総合防災訓練に参加した。

本訓練は、災害発生時における関係各機関との協力態勢の強化及び救助・救出技術の向上を図るとともに、市民の防災意識の高揚に寄与する目的で「北海道留萌沖を震源とするM7.8の地震発生により、小樽市において震度六強が観測され、小樽市の海岸沿いに約三メートルの津波が到達」という場面で、小樽市は、防災関係機関をはじめとする各機関に緊急災害対策を要請するとともに、後志振興局長に自衛隊の災害派遣要請を行ったという想定で行われた。

第十一特科隊は、本訓練において、土砂崩れ現場での偵察（オートバイ使用）、被災車両の発見・救助等を北海道開発局、小樽警察署、市消本部及び市建設部等と連携を確認した。

訓練間、特科隊は組織的な行動と迅速な救助活動により、連携を確認して、今後の訓練の資を得ることができた。

令和3年度 新隊員の紹介

新隊員奮闘中!



本部管理中隊 桑島一士
配属されて一か月半が経過し、少しずつ生活に慣れたと思います。中隊長や良い先輩と出会い、本管中隊で良かったと感じています。



本部管理中隊 梶本一士
初級部隊ネットワーク教育に行かせていただき、充実した日々を過ごしています。



本部管理中隊 山本一士
わからない事ばかりですが、自分の出来る事は、常に全力で頑張ります。



本部管理中隊 市川一士
周りに心配りをする等が、今まで無かったので最初は苦労しましたが、自分の出来る事を考え頑張ります。



本部管理中隊 渡邊一士
配属されて一か月半が経過し、少しずつ生活に慣れたと思います。日々の生活に緊張感を持ち、今後も頑張ります。



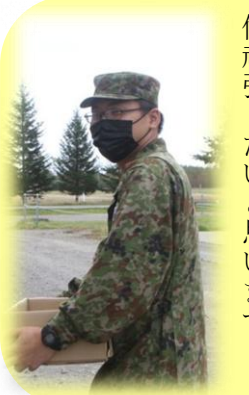
本部管理中隊 藤原一士
初級部隊ネットワーク教育で多くの知識と技術を習得し、中隊に貢献します。



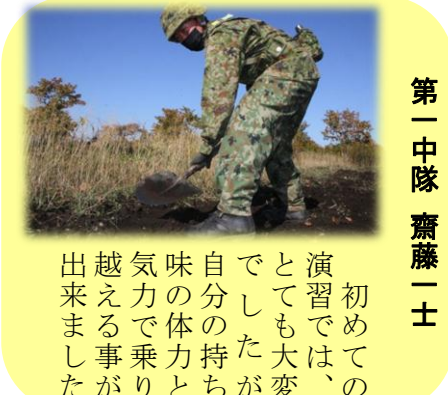
本部管理中隊 山下一士
中隊配属後、色々な経験して、少しは、成長できたと思います。今後も多くの事を学べるように努力します。



第一中隊 上野一士
中隊に配属され初めての演習では、砲班として参加する事が、出来ませんでした。冬季訓練では、その分、人一倍頑張りたいと思います。



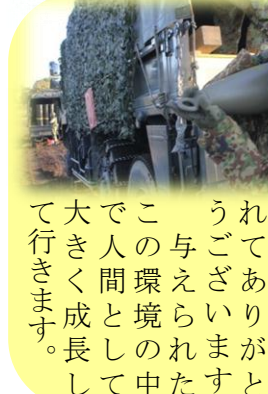
第一中隊 齋藤一士
初めての演習では、とても大変でしたが自分の持ち味の体力と気力で乗り越える事が出来ました。



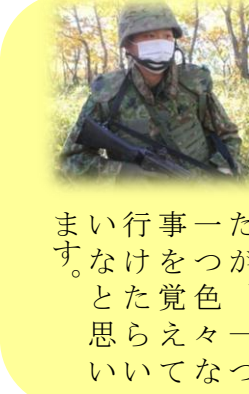
第一中隊 浅羽一士
初級部隊通信ネットワークの教育に参加しています。通信は、通じてあたりまえ前という事を実現する事に頑張ります。



第一中隊 功刀(くぬぎ)一士
神様にお礼を言います。第一中隊と出会わせてくださりありがとうございます。この環境の中で人間として大きく成長して行きます。



第一中隊 松原一士
初演習があり、右も左も分からず大変でしたが、一つ一つ色々な事を覚えていきたいと思います。



第一中隊 親松一士
家族の様な中隊に配属され、凄く嬉しいです。演習で困った時には、先輩達が、分かり易く教えてくれ、悩みなども解決しました。凄く良い方々と出会えて良かったと感じています。



第二中隊 梅村一士
中隊配属され解らない事が多くありますが、出来ませんが、自分からどんどんやっと思いたい。



第二中隊 菊地一士
演習など教育隊の頃では、想像できなかった事ばかりですが、先輩についていくのが精一杯です。頑張つて成長していきたいです。



第二中隊 岩間一士
わからない事や出来ない事が沢山ありますが、立派な特科隊員になれるように頑張ります。



第二中隊 杉谷一士
中隊に配置され、わからない事や大変な事が沢山ありますが、精一杯頑張りたいと思います。



第三中隊 太田一士
様々な経験をし、日々の生活や仕事の場面で臨機応変に対応出来るように努力します。



第三中隊 渡辺一士
日々を大切に一步一步成長したいです。健康管理に努め、前向きに頑張ります。



第三中隊 本多一士
与えられた任務を丁寧に素早く実施して、立派な特科隊員を目指します。



第三中隊 田中一士
体調管理に気を付けて、より一層成長できるような日々を精進していきます。



第三中隊 竹田一士
自分の立場や役割を考えて行動する事が出来るようになるために努力します。



令和三年度特科隊実射検閲

隊は、令和三年十月十四日(木)、矢白別演習場において、令和三年度特科隊実射検閲を受閲した。

特科隊実射検閲は、隊の実射練度の向上を図るとともに、旅団から評価を受けて、じ後の訓練の資を得る目的で行われた。また、隊は実射検閲受閲に先立ち、十月八日より実射練成訓練を実施して、弾着の誘導、精度の向上を図り、各機関の連携要領の練度向上を追求した。

実射検閲当日は、天候にも恵まれ、隊長要望事項「すべてを弾先に集中せよ、予測して排除せよ」のもと、これまで練成した成果を全隊員が一丸となり発揮し、弾先に集中するとともに、各種状況に対応しつつ、射撃と小移動を繰り返し、旅団火力戦闘部隊の骨幹としての任務を完遂した。

◀99式自走りゅう弾砲による射撃



隊長要望事項

全てを弾先に集中せよ

予測して排除せよ



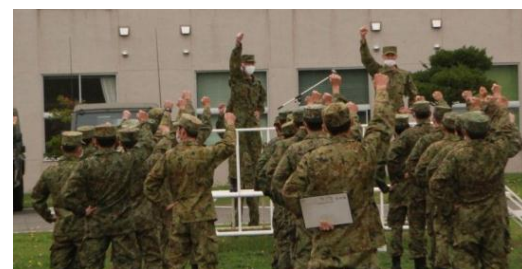
▲陣地変換中の99式自走りゅう弾砲



▲気象班による目視観測



▲測量班による射弾の観測



▲特科隊全員での勝どき



▲有線通信の構成



▲レーダ班による標定準備



▲射撃指揮班による射撃指揮



◀やまぶき会より頂いた、特科隊実射検閲激励品の紹介

令和三年度 旅団観測者集合訓練

隊は、六月二十八日(月)から七月七日(水)までの間、真駒内駐屯地、北千歳駐屯地及び北海道大演習場において、令和三年度第二次旅団観測者基幹要員集合訓練を担当・実施した。



▲射撃陣地の研修 (北海道大演習場)



▲観測シミュレータを使用した訓練 (北千歳駐屯地)

写真で振り返る特科隊の一年(一月～十二月)



幹部任官行事



令和二年度隊冬季訓練



訓練開始式



山岳機動訓練



春季演習場定期整備



基本基礎競技会



総合戦闘射撃



令和三年度新隊員後期教育



第二回隊訓練



陸曹候補生履修前教育



職種機能等強化(火力)



特科隊実射検閲

OBの方へ連絡とお願い

一 入門証について

現在、期限切れの入門証をお持ちの方で今後も必要とされる方は、更新手続きをお願いいたします。
手続きに関しては、「特科隊広報・援護室」にて行います。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四七) 担当 嶋田

二 叙位及び死亡叙勲に関する手続きについて

自衛隊員として勤務され、在職中の功績と一定の要件が満たされた方は叙勲の対象となります。特に死亡叙勲は、ご遺族からの申し出によって手続きを進める事になります。おり、手続きの期間が限られており、この期間を過ぎますと叙勲が受けられなくなります。万が一ご本人が逝去された場合は、死亡日を含め五日以内で最寄りの防衛省各機関、部隊等へ連絡下さい。また、ご家族皆様へお伝えいただくようお願い申し上げます。

三 その他

第十一特科隊隊舎一階において第十一特科連隊時代の歴史を展示した広報展示室を開設しております。ご訪問の際にはお気軽にお立ち寄りください。

電話〇一一一五八一―三一九一
(内線二六四五) 担当 天野